

シヤッターを押すほど愛が深まる。甘い、甘い、デート写真を撮ろう。

デートの楽しい記憶が蘇る、メモリアルな写真を撮る。

デート写真に活用できるプロのテクニックを、フォトグラファー・須藤夕子さんが伝授。「恋人同士で写真を撮るときに陥りがちなのが、相手を中心に収めた撮りばかりになってしまうこと。

相手の顔を撮りたい気持ちは分かりますが、そればかりではあとで見返してもデート当日の雰囲気やそのときの気分は伝わりません。プロ並みの腕や機材がなくても、工夫次第で写真の雰囲気は大きく

変化。甘く楽しい記憶を呼び覚ますようなデート写真を撮りましょう。」
須藤さんのアドバイスのもと、田中圭さんと入山法子さんが写真デートにトライ。カップル気分を横浜を散策してもらいました。

Lesson 1 相手を撮る

フレームの真ん中に被写体がいる記念写真風ではありきたり。アングルで遊んでみたり意外なものをフレームインさせる、相手撮りの4つのテクニック。

人物をフレームの端に寄せて、背後の景色を大胆に入れ込む。

テクニック1 アングルで遊ぶ①

横顔、上からなど、普段とアングルを変えてみる。

写真を撮るときは、つい正面に構えがち。「アングルを1cmずらすだけでも写真は様変わりします。例えば、上のほうから撮ればいつもと違う恋人の表情を捉えられるはず。そこに景色を入れ込めば、2人で訪れた場所を記録できますね。カメラ視線を避けた、遠くを見る横顔も雰囲気が出て◎」(須藤さん)



斜め上から撮ると「こんな表情もするの?」と新鮮な写真に。

テクニック2 アングルで遊ぶ②

芝生に寝転んだ彼を上から覗き込むように激写しよう!

「基本的に立ち姿か座り姿を撮ることが多いと思いますが、こんなアングルもぜひ試してみてください。公園の芝生やベンチで恋人に寝転んでもらって、真上から覗き込むように撮ります。これは、プロのカメラマンもグラビアなどでよく使うテクニック。構図が独特だし、表情もよりリラックスしたものになります」

彼に手を伸ばしてもらおうと、躍動感のあるおもしろい写真になる。



教えてくれた先生

右・須藤夕子さん

フォトグラファー。代表写真集は、「笑顔泥棒」のキャッチコピーで子供の笑顔を中心に収めた『catch your smile!』(ゴマブックス)。公式サイトはこちら。http://sudoyuko.com/



左・田中圭さん

俳優。ドラマ『官僚たちの夏』(TBS系、日曜21時~)に出演中。この秋は『TAJOMARU』、『キラークラウド』など出演映画が続々と公開される。

中・入山法子さん

女優。ファッション誌で人気モデルとして活躍しながら、女優業にも打ち込む。現在、ドラマ『赤鼻のセンセイ』(日本テレビ系、水曜22時~)にナース役で出演。

このページで使用したカメラ: Canon IXY DIGITAL 510IS

写真・小笠原真紀 ヘア&メイク・伊藤 聡 スタイリスト・岡部美穂 撮影協力・横浜マリンタワー イラスト・小林 晃 46

初校



田中さん/ベスト¥40,950 (McGR EG OR Budge Dragon / McGREGOR Budge Dragon 原宿☎03・5778・9151) カットソー¥16,800 パンツ¥16,800 (共にWHITE LINE / adonust.co.,ltd ☎03・5428・2458) スニーカー¥20,475 (adonust.y / adonust.co.,ltd) 入山さん/シャリングブラウス¥14,700 (アイボリーコート 船橋店☎047・421・7101) ミニスカート¥24,150 (マスコブ/ジャーナル スタンダード 渋谷店 ☎03・5457・0719) ブーツ¥72,450 (BUTTERO TOKYO ☎03・5766・1718) ネックレス¥11,550 (NIKKI-B / アメリカン ラグ シー銀座マロニエゲート店 ☎03・5159・1583)

テクニック4
食べ物越しに
相手を撮る。

カフェタイム中の撮影は、料理などが絶妙な小道具に。「ズーム機能を使ってフレームの中央で相手の顔にピントを合わせ、そのままカメラをスライドさせて料理を入れ込みます。こうすると手前のものが適度にボケて、ニュアンスのある写真に。白いテーブルだと、顔に光が反射して女性はとくにキレイに写ります」

アングルは下方から、ガラスの横から覗くように自然な表情を狙う。



手に持ったアイス越しに。手前にピントが合ってもユニーク。



料理を手前に置き、料理越しに相手を見るアングルが新鮮！

忘れられない
思い出になりそう。



テクニック3
手をつないで、
その手までフレームイン。

静止ポーズだけでなく、歩きながらの撮影にも挑戦しよう。「手をつないだまま、2人のその手をフレームインさせます。相手に先を歩いてもらい、振り返ったところをパチリ。歩きながら撮るので多少はブレますけど、そのライブ感こそが狙いです。交代で前から後ろから撮り合いっこすれば、2人のラブラブな雰囲気が残せますね」



交代で2パターン撮ることで、楽しい思い出も2倍に。



仕上がり写真はこちら。アングルはやや下からがよい。



不意をついてパチリ。素の表情をとらえることに成功！



テクニック1

自分撮りの上級アイデア。後ろの彼をフレームに入れる。

「遠近法を用いたツーショットに挑戦してみましょう。手前の自分にピントを合わせ、後方にいる相手をフレームに入れます。買い物などに夢中でこちらに気づいていない彼を狙って、こっそり撮るのも楽しい。仕上がりの写真は、マンガの一コマのようなおもしろい光景になるはず」



Lesson 2
2人で写る

デートで撮っておきたいのはやっぱりツーショット。せつかくの彼の甘い1日ならば、ただ横並びではもったいない！ここでも普段とは違うひと工夫を。

手動の自分撮りではなかなかうまく撮れないタワーでも、この通り。



テクニック2

セルフタイマーをセットしたカメラを地面に置いて覗きこむ。

観光スポットを訪れたら建物を背景に2人で撮っておきたい。そんなときのテクニック。「セルフタイマー機能を活用して。ちょうどよいスタンドになるのが二つ折りタイプの携帯電話。少し開いた状態で地面に置き、カメラを立てかけ、覗き込むようにして撮ります。このローアングルなら人物も、背の高い建物も収まります」

さらに使えるテクニック



自分撮りのカメラは内&縦で。

2人で自分撮りをする時、外側の手で撮るとどうしても体が不自然に反ってしまうもの。「不自然な仕上がりを避けるには、カメラを2人の間の手で持って、縦位置で撮りましょう。自然と顔も寄って、甘い印象がプラス」



人に撮ってもらう前に見本を。

通りかかりに人に写真を撮ってほしい結果「イメージと違う…」とがっかりしたことはあるはず。「人物と景色とのバランスを決めて試し撮りし『私がここに入るのだから撮ってほしい』と見本を示せば、お願いする相手にも親切」

鼻の頭にアイス、ついてるよ(笑)



アイスの甘さも写真に残せそう。



初校



上目からのアングルで、長く伸びた恋人の影を主役にする。

テクニック1

逆光や影を演出として取り入れる。

「室内から明るい外を背景に撮影すると逆光で人物が暗く写ってしまいます。それを逆手に取り、影にフォーカスした写真を撮りましょう。オート撮影モードにすると外の光に合わせて露出補正され、人物が暗く浮き立ちます」

そしてレッスン1で学んだアングルを実践すれば、ドラマティックな写真の出来上がり。

Lesson 3
暗いところで上手に撮る

プロでなければ難しい、と思われる暗い場所での撮影。その暗さを演出にする方法やきれいに撮るためのテクニック。



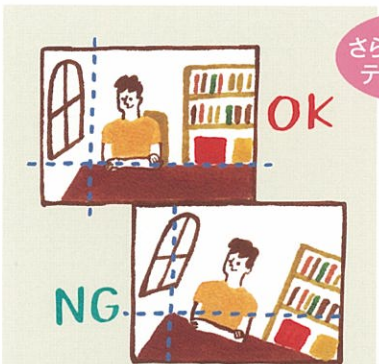
窓枠にピントを合わせると外の光に補正され印象的なシルエットが。



テクニック2

壁や体を使ってカメラをしっかりと固定する。

「間接照明のダイニングバーなどでは、ホワイトバランスをオートのままにしておくと、光が白っぽく写ってせっかくのムードが台無し。“昼間に野外で撮る”設定にすると、暖色系の温かい色みが残せます。また、暗い場所ではブレやすいので、腕を、壁や自分の体にしっかりと固定させましょう」



さらに使えるテクニック

室内写真は垂直平行をキープ。

室内で写真を撮る場合はとくに、家具の直線に対して垂直平行になるよう気を付けたい。「狭い室内では、わずかな傾きでも人は違和感を覚えます。わざと狙う場合は別として、どこか一箇所、家具や窓枠のラインに合わせて」



影で彼を包み込む。

こんな遊び心のある写真もいかが？ 「まず自分の手を太陽のほうへかざし、手の影を作る。その影を、被写体に接するような位置にフレームインさせる。こうすると影の手が恋人の顔に触れているような、幻想的な写真に」

